撮影場所◎最上広域交流センター ゆめりあ（新庄市）

奏であう人 vol.81

地域へのエールを役に込めて

「やまがた愛の武将隊」として本県の観光PRに取り組む草野義尊さんと、ローカルヒーロー「未来創造戦士ユメリオン」を企画し、地域活性化に取り組む齊藤海さんに、活動への思いをお聞きしました。

齊藤 海（さいとう みちる）さん（宮城県）

1989年生まれ。宮城県出身・在住。JR新庄駅に併設された「最上広域交流センター ゆめりあ」の運営に携わる中で、ローカルヒーロー「未来創造戦士 ユメリオン」を発案し、スーツのデザイン、台本、演出などを作り込んだ。ユメリオンは、2023年より精力的に活動し、拠点である新庄市のほか、県内外で最上地域のPRに取り組んでいる。

ゆめりあで定期的に開催しているユメリオンショー。今年2月に秋田県のローカルヒーロー・ビートファイターAceとコラボして開催したステージショーは、過去最高の盛り上がりとなった。

草野 義尊（くさの よしたか）さん（米沢市）

1985年生まれ。埼玉県出身、米沢市在住。株式会社オニキス代表取締役。劇団員や会社員を経て、東日本大震災をきっかけに、福島県の観光PRを行う「ふくしま八重隊」に参加。2016年からは米沢市を拠点とする「やまがた愛の武将隊」に参加し、直江兼続として山形県の観光PRに取り組むとともに、地域の目玉になる新たなイベントも企画している。

昨年秋に米沢市で初開催された「第1回よねざわ戦国花火大会」。草野さんはプロジェクトメンバーの一員として企画演出を務め、最新のドローンショーや、武将隊の演武を組み合わせた戦国エンターテインメント花火を仕掛け、多くの観客を魅了した。

震災を乗り越えて気づいた地域への思いと情熱

やまがた愛の武将隊（以下、武将隊）の直江兼続として活動する草野さん。きっかけは東日本大震災でした。

「福島で被災し、仕事も失いました。そんな時に、大河ドラマを活用した観光PRを担う、『ふくしま八重隊』の募集ポスターを目にし、かつて東京で役者を目指していた頃の情熱が再燃しました。募集期限は過ぎていましたが、復興の役に立ちたいと担当者に熱意を伝え、八重隊としての活動が始まったのです」。

6年間の任期中、福島のPRで全国各地を飛び回る中で、草野さんは武将隊と出会いました。

「武将隊の本拠地である米沢市は、福島からの震災避難者を多く受け入れていました。福島での活動の後は、武将隊の一員になり、恩返しをしたいと考え、移住を決めました」。

武将隊は、県内観光地でのおもてなしをはじめ、国内外のイベントへの出演、新たなイベントの企画・運営など、活動の幅を広げながら、本県の観光PRに取り組んでいます。

コロナ禍に誕生したユメリオン

一方、「ユメリオン」の生みの親の齊藤さんは、コロナ禍だからこそユメリオンが誕生したと言います。

「縁あって、『最上広域交流センターゆめりあ』の運営に携わり、施設を活用した地域活性化の企画を考えることになりました。当時は、コロナ禍の真っただ中で、マスクが欠かせないことを逆手に取り、フルフェイスマスクのヒーローイベントを思いついたのです」。

閉塞感を吹き飛ばし、地域に笑顔を届けるために、ユメリオンは、ゆめりあでの定期公演や、保育園、福祉施設などへの訪問などを重ねたそうです。今では子どもたち、そして地域に愛される存在です。

「ユメリオンは各地に出向き、PR隊として活動できます。そこで最上地域をPRすることで、最上と他の地域、つまり点と点をつなぐことができるのです」。

武将とヒーロー 役だからこそ伝えられること

齊藤さんが続けます。

「子育てや介護をしている人、家族のために働く人、苦手な勉強や運動に取り組んでいる子どもたち。日々何かと戦っている皆さん一人ひとりがヒーローです。そんなメッセージを伝えるステージにしたいと考えています」。

草野さんがうなずき、武将隊が伝える意義について話します。

「歴史観光を楽しんでもらう際には、わかりやすく伝える工夫が大切です。武将が上杉神社参拝に来たお客さまを案内することで、難しい資料を読まなくても、地域の歴史や魅力を伝えることができます。体験を通して、お客さまの観光地に対する愛着も深まるはずです」。

齊藤さんが共感して応えます。

「役だからこそ、深く伝えられることもあります。歯磨きをテーマにしたショーをした後に、子どもが歯磨きをするようになったと聞いた時は、うれしかったですね」。

〝会えること〟を続ける大切さ

「武将隊は、今年で活動15周年を迎えます。前代表から事業継承する際に、『また会える日を待っておるぞ』とお客さまを見送る限り、武将隊を継続、発展させることを誓いました。この誓いは、苦しい時も活動を続ける原動力です。」と草野さん。

「活動を広げていく上でも、大事なことですね。ユメリオンは、今年新たなステージとして、山形と宮城の2地域での活動を考えているんです。」と応える齊藤さん。

奏であうお二人の対談を締めくくるように、直江兼続とユメリオンが現れます。

「継往開来（けいおうかいらい）！先人たちが地域に残した偉業を受け継ぎ、皆で未来を拓こうぞ！なあ、ユメリオン殿！」と直江兼続がこぶしを上げます。

ユメリオンもこぶしを上げ、応えます。

「未来創造！過去と未来、想いは一つ！毎日を頑張るみんながヒーローだ！」。